

広報 富士がわ

No. 375

発行/富士川町 総務課
〒421-33富士川町岩淵121
☎81-1111

●平成4年10月5日発行

10月号



宇宙人の侵略か?

9月1日『防災の日』、イハラケミカル工業㈱では、東海地震による工場火災、タンク亀裂、塩素漏洩を想定した防災訓練がおこなわれました。この工場は、化学薬品を製造しているため、防災隊員を配備しているほか、化学消防車、泡消火器、消火栓（30基）などの設備も充実しており、非常時に備えて1カ月に6回も防災訓練をおこなっているということです。

町のメモ

平成4年10月1日現在	
人口	18,019人
増減	-35人
男	8,868人
女	9,151人
世帯数	4,930世帯
面積	30.92km ²

『究極のまち』を 目指しています。

急がれる地域福祉の充実

近隣の人たちと温かい触れあいのある生活をおくることは、誰もが共通な願いです。この願いを大切に、豊かであたたかい地域社会を実現するために私たちのまちでは富士川町地域福祉センターを拠点に地域福祉推進支部が組織され、地域の福祉問題への取り組みが始まっています。

があります。また、頼みとする家族も三世帯家族が減り、若者世帯と老人世帯の二つの核家族を生み、弱い家族となってきたことにも問題があります。

私たちの身のまわりには『福祉問題』がいっぱいです。

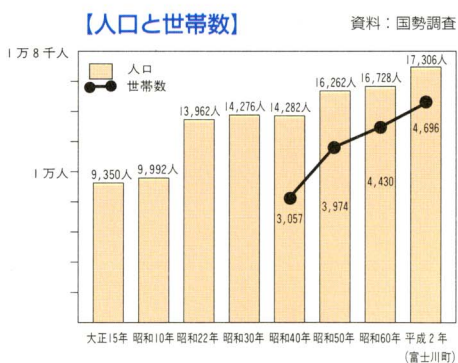
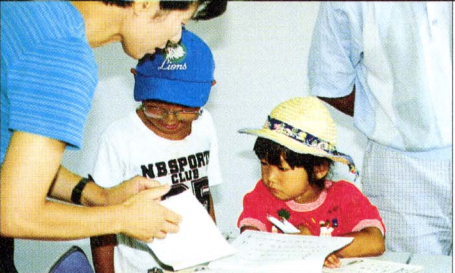
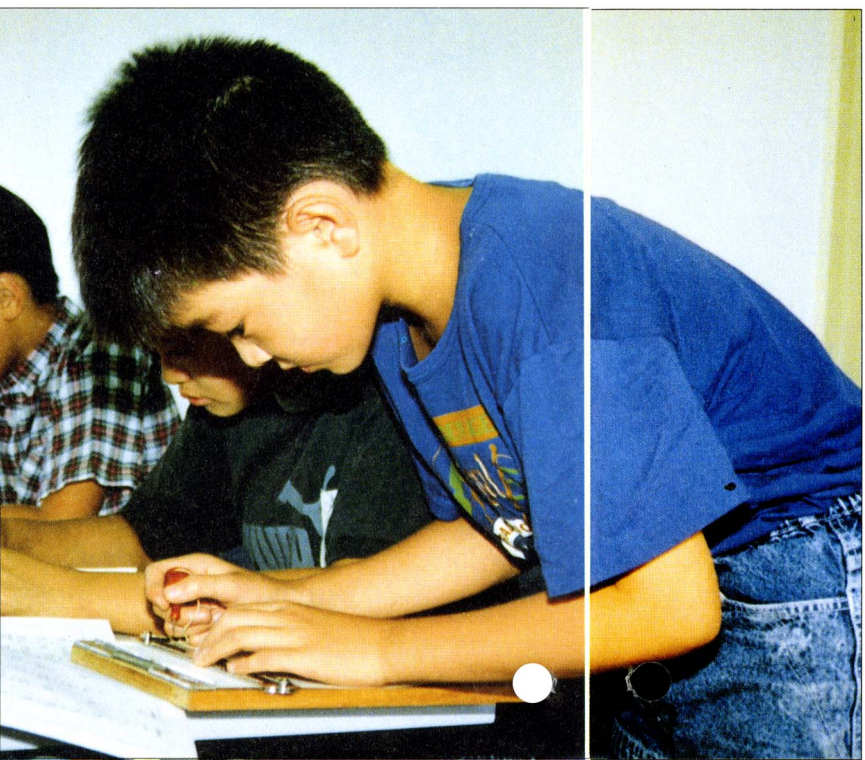
誰もが、福祉とは困った人を対象に行政がおこなうもので、自分とは直接関係のないものと考えているようです。しかし、一人暮らしの老人や障害者になった人たちの理由を聞くと、福祉というのは

特別なことではなく、今では、誰もが福祉の対象となってもおかしくないような状況にあるということに気がつきます。例えば、高齢化にともなう虚弱老人・寝たきり老人・痴呆老人などの要援護老人の増加、脳卒中による後遺症・交通事故・労働災害による障害者の増加、親をなくしたり離婚による母子・父子家庭の増加などの問題

『弱い家族』だから、『地域福祉』が必要なのです。

核家族化した弱い家族には、身のまわりでおこった問題のすべてを解決することはできません。

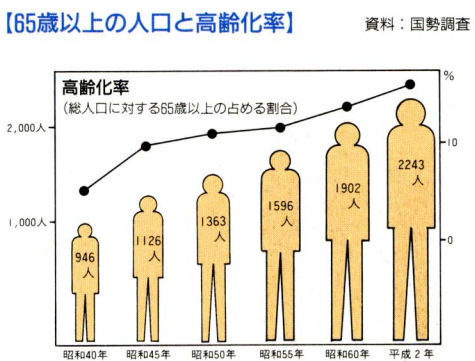
いれあい、支えあう関係をつくる
ことが、安心して毎日をおくるためには必要なのです。これからの福祉は「行政から与えられる福祉」ではなく、「地域参加で創造する福祉」です。



『高齢化社会』とは

高齢化社会とは、総人口に占める六五歳以上の割合が7%をこえた一九七〇年頃から、高齢化が進展しピークに達する二〇二〇年頃までの期間を呼ぶことが多いようです。私たちの国の高齢化は外国に例をみないスピードです。

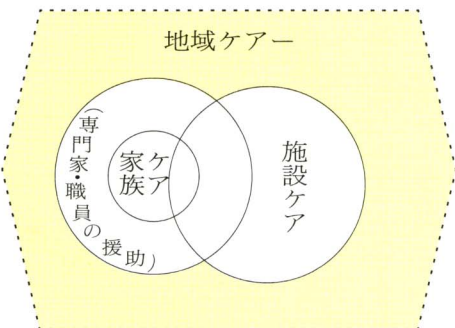
高齢化社会は、高齢人口が絶対的・相対的に増加しますが、この高齢人口の生活の安定と福祉の確保、高齢人口を扶養する経済と社会をいかにして活力あるものにして維持していくかが重要な課題となっています。



『社会福祉協議会』とは

社会福祉協議会は、法律や制度の枠で縛られて活動するのではなく、民間団体としての先駆的・弾力的な機能を発揮して地域の福祉問題に取り組む団体です。

その活動理念は、全国社会福祉協議会が策定した基本要項に次のように規定されています。「社会福祉協議会は、一定の社会において住民が主体となり、社会福祉、保健衛生そのほか生活の改善向上に関連ある公私関係者の参加、協力を得て、地域の実情を増進することを目的とする民間の自主組織である。」



福祉のまちづくり3step

地域の親睦活動

- ・スポーツ同好会、レクリエーション
- ・各種文化会の集い

楽しみ分けあう

TOP

福祉重視の活動展開

- ・既存のサークルや集いの輪を多方面に広げ、住民のつながりをさらに大きくする

重荷を分けあう

STEP

弱い立場の人を支援

- ・狭い地域で、まず、弱い立場の人を思いやる行動を始めていく

住民の心のつながり

PPZP

住んで良かった世間の創造

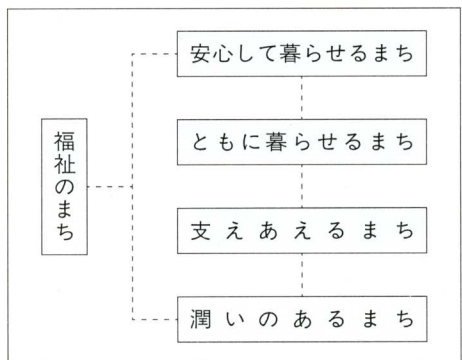
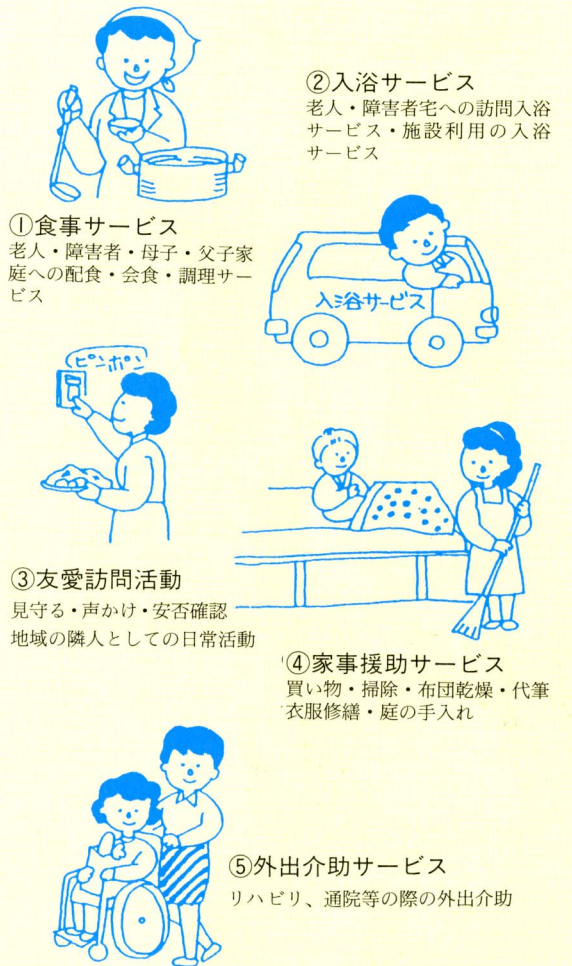


『福祉のまちづくり』とは
『究極のまちづくり』です。

これまでのコミュニティ活動は、地域環境整備活動や、スポーツ・レクリエーションなどの親睦活動に重点が置かれてきましたが、この活動の成果をもとに、福祉問題を軽減したり解消するような援助活動に重点をおいたのが福祉のまちづくりです。これは、ともに楽しむことを中心とした活動から、ともに重荷を担いあう活動へと展開した、究極のまちづくりです。

私たちのまちの地域福祉の拠点
は富士川町地域福祉センターです。そして、富士川町社会福祉協議会を中心に福祉のまちづくりを組織的に促進するために、町内の八つの地区に地域福祉推進支部（木島・岩淵・中之郷上通・中之郷下通・南松野・北松野・中野台・かぎあな）があります。支部によって活動はまちまちですが、広報活動・高齢者ニーズ調査・住民意

『ミニミニ福祉』あれこれ



向調査・一人暮らしの老人との会食など、地域の皆さんの地道な努力によって、徐々に成果をあげつつある支部もあります。

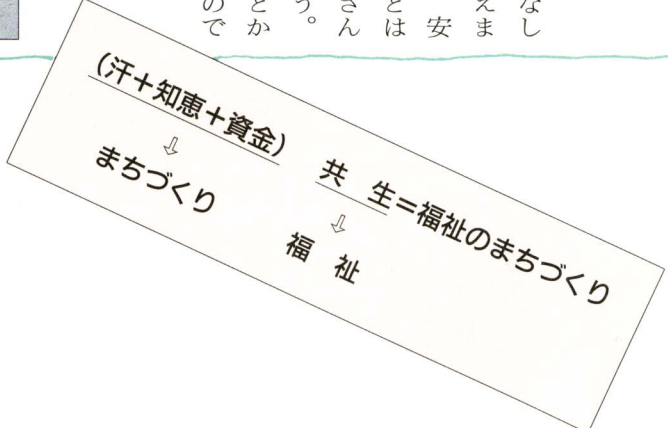
私たちがめざす福祉のまちとは、①安心して暮らせるまち、②ともに暮らせるまち、③支えあえるまち、④潤いのあるまちです。このためには、地域福祉を推進する場づくり、住民の福祉意識づくり、福祉問題をかかえた人の社

会参加の場づくり、福祉活動への住民参加・担い手づくり、福祉問題をかかえた人々への援助活動が必要です。つまり、福祉問題につ

私たちの未来について みんなで話しあってみよう。

福祉のまちづくりはこれまでのまちづくりを基礎に、よりレベルの高いものを目指しています。どのようなまちづくりにも、行政や地域の皆さん、そして問題を抱え

た当事者をふくめた取り組みなしには実効はあがらないといえます。自分たちが年をとっても、安心して生活できるまちづくりとは何なのか、将来の見通しを皆さんで話しあってはいかがでしょうか。そんな話しあいの場を作ることから福祉のまちづくりは始まるのではないのでしょうか。

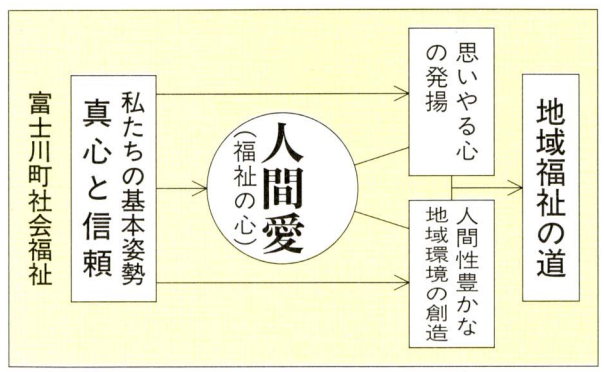


『福祉とプライバシー』

福祉問題とプライバシー問題は避けておれません。プライバシーとして守られる部分と、情報として提供される部分の両面での調整が必要です。一般的に保護されなければならぬのは、援助活動に直接関係のない情報です。本人の意志を無視してみだりに個人情報収集、記録、公開は避けなければなりません。当事者との信頼関係を大切に、問題解決に必要な情報は関係者の中にとめることが必要です。

『地域福祉』とは

地域福祉は、社会変動によってもたらされた地域住民の生活上の困り事に対して、行政サービスだけに依存しないで、住民が主体的に問題の解決を図ろうとする動きをもとに成立した概念です。これは、地域住民の自主活動を背景に、関連領域の教育活動や保健活動が有機的に連絡調整し、役割分担を明確にすることによって地域の福祉を高めるための実践体系です。



励ましあって

前進しています。

私たちのまちのデイサービス事業

五月にオープンした富士川町地域福祉センターでは、この施設の目玉であるデイサービス事業を始めます。このデイサービス事業は市町村としては県下でもめずらしいサービスであるといわれています。皆さんにあまりなじみのないデイサービス事業とはいったいどのようなサービスなのでしょう。



人とふれあうことに、
生き甲斐を見いだしました。

私たちのまちは、五月から富士川町地域福祉センターでデイサービス事業をおこなっています。現在六三名の利用者がいますが、このサービスの目的は、ハンディキャップをかかえた人たちに、生



活指導・健康チェック・日常動作訓練・機能回復訓練・創作活動など、いろいろなサービスを提供するとともに、施設にかよふことを通じて生き甲斐を見いだしてもらうことにあります。

デイサービス事業について利用者の方々に聞いてみると、「家にいればテレビと戦争だけど、ここに来れば世間の人たちとふれあうことができ、生き甲斐を感じます。」「三年ぶりにお風呂に入ることができました。たくさんの人に利用してもらいたいと思います。」「という声がかえってきました。また、利用者の家族からは、「チェックバスで車イスでもお風呂に入れてあげることができました。」「汚れるという理由で、タクシーに車イスを乗せることを拒否されて以

来、外出することをこぼんでいます。したが、リフトバスで送迎してもらえるので、センターへかよふことが励みとなっているようです。」「という声も聞かれました。

しかし、利用者の方々が最初から何も抵抗なくサービスをうけることを決めたわけではありませんが、それまでの過程には、「誰だつて、自分のこのような姿をみられたくないと思います。しかし、家にとじこもってしまっている、自分が駄目になってしまおうということに気づき、勇気を出してサービスをうけることにしました。」「という声のように、それぞれの皆さんの悩みや苦しみを克服したうえでの決断であるということがわかります。

に生活しながら、いろいろな事情で社会参加する機会に恵まれないため、私たちはこういった人たちの存在や生活無視してしまいがちです。

地域で支えあえる関係が私たちに求められています。

私たちの地域には、いろいろな人たちが生活しています。その中には、ハンディキャップのある人たちもいます。しかし、同じ地域

地域福祉センターには昼食を食べる間も惜しんで、お互いに励ましあいながら、ひたむきにリハビリテーションを続ける前向きな人たちの姿があります。

健康に暮らすことは、誰もがもつ共通な願いなのです。



なく自立しているが、社会とのかわりが少なくなっている方、④脳血管障害で急性期をすぎ、在宅で日常動作訓練を必要とされている方などですが、これらの枠にとられず、利用者のニーズにあった窓口の広い施設となっています。

問合せ
富士川町社会福祉協議会
☎八二〇二九四

デイサービス事業の一日

- 9:30 自宅へ迎え（送迎サービス）
- 9:45 利用者センターへ到着
- 10:00 生活指導（オリエンテーション）
※スケジュールを説明
- 10:15 健康チェック（血圧・健康状態）
- 10:30 創作活動（工作）
- 11:00 日常動作訓練・機能回復訓練
※歩行訓練やマッサージ
- 11:45 昼食
- 13:00 入浴・休養
※時間をみて自主的に訓練をする
- 14:30 おやつ
- 15:00 生活指導
※利用者の家族へ連絡帳をわたす
- 15:15 自宅へ送る（送迎サービス）

※取材や撮影にご協力くださった皆さん、有り難うございました。

富士川町の高齢化率 (%)

1	中野台	4.4
2	富士松野	6.3
3	大楽窪	8.0
4	東町二	9.2
5	日の出町	10.6
6	四十九町	10.9
7	八幡町	11.0
8	吉津	11.6
9	南町二	12.0
10	清水町	12.6
11	宮町	12.6
12	幸町	12.9
13	小池	13.1
14	大北町	13.7
15	南町一	14.0
16	東町一	14.2
17	堺町	14.4
18	本通三	14.8
19	木島	14.8
20	坂下	15.4
21	小山	15.7
22	新町	15.9
23	川坂	16.8
24	新町本町	16.9
25	相生町	17.2
26	富士見町	18.2
27	上町	18.8
28	俣下町	19.9
29	室野	20.0
30	旭町	20.4
31	本通四	23.7
32	本通一	24.0
33	舟山町	25.1
34	かぎあな	26.7
富士川町全体		13.6



地域の交流の場を発見！

9月6日、子供からお年寄りまですべての人のあたたかい交流の場、「ふれあい広場」が富士川町地域福祉センターでおこなわれました。



丈夫で長生きしてください。

9月9日、富士川町中央公民館で、「敬老会」がおこなわれました。今年の対象者は、1,604名（男子626・女子978）、最高齢者は田村なかさん（本通一）の102歳でした。また、男子の最高齢者の望月春吉さん（上町）は9月10日に100歳の誕生日を迎えました。



絶好の釣り日和！

8月23日、照りつける日差しのなか、「富士川鮎釣り大会」がおこなわれました。【大会結果】 第1位 若月宣良さん（富士市）1,591g 第2位 佐藤正美さん（沼津市）1,563g 第3位 池谷克志さん（東町二）1,113g 大物賞 芦川武司さん（四十九）28.4cm



まちの できごと

ナイスパット！

9月3日・4日、リバー富士カントリークラブで「富士川町民ゴルフ大会」がおこなわれました。2日間の参加者は329名、優勝者は3日が内山秀夫さん（南町一）、4日が望月由己さん（吉津）でした。

富士川でもこんな遊びができるんだ！

8月23日、富士川河川敷で「富士川リバーランドフェスティバル」がおこなわれました。川を使ったいろいろな遊びに、参加した大人も子供も大はしゃぎ、故郷の川に親子で親しむという貴重な一日をすごしました。



ふるさと情報便

●役場・富士川町岩淵121 ☎81-1111

東名高速道路の集中工事

集中工事期間 10月22日～30日
東名高速道路全線で、リフレッシュ工事のため車線規制をおこないます。このため、大きな渋滞が予測されますので、道路の混雑緩和にご協力ください。

夜間通行止 10月24日
厚木～大井松田 18時～7時
大井松田～御殿場 21時～7時
静岡～袋井 18時～7時

※上下線とも通行止
※荒天の場合は同時刻で順延
問合せ先

日本道路公団富士管理事務所
☎0545-52-2505

道路情報
日本道路交通情報センター
☎054-252-1111

行政相談について

10月11日～17日は行政相談週間です。行政相談とは、役所などでおこなっている恩給、公害、交通、登記、税金、教育、保険、年金、農地、消費者保護、郵便、道路、河川等の仕事について、処理が間違っている、処理が遅い等の苦情、要望、問い合わせをお受けして、その解決や実現を図るものです。苦情や意見は、地元の行政相談員や行政監察事務所へ電話、手紙、または直接口頭でお申し出ください。

問合せ先 斉藤静晴（行政相談員）
富士川町岩淵780
☎81-0827

静岡行政監察事務所
静岡市追手町9-50
☎054-254-1100

10月の行政相談所
日時 平成4年10月20日（火）
午前9時から午後3時
場所 富士川町地域福祉センター

死亡届書の写しの交付について

東京法務局の通達により、死亡届書の写しの交付申請については、厚生年金保険・簡易生命保険・地方公務員共済組合保険等の公的年金以外のものについては交付できなくなりました。また、住民課窓口での請求も親族の人に限られます。保険会社に保険金を請求するという理由で交付請求されても、請求に応じられません。
問合せ先 富士川町住民課
☎81-1111

静岡県肢体不自由児巡回相談

静岡県の肢体不自由児巡回相談が、富士川町保健センターでおこなわれます。お子さんの肢体のことで、ご相談されたいことのある方は、お子さんとご一緒にお出かけください。なお、ご希望の方は事前に富士川町健康福祉課まで、ご連絡ください。

日時 平成4年10月20日（火）
午後1時から3時まで
場所 富士川町保健センター
問合せ先 富士川町健康福祉課
☎81-1111

身体障害者手帳をお持ちの方に結婚祝いの品が贈られます

身体障害者手帳をお持ちの方が結婚されますと、静岡県の身体障害者福祉会より、お祝いの品物が贈られます。詳しいことは地区の身体障害者相談員におたずねください。

相談員
岩淵地区 市川良子 81-2691
中之郷地区 鈴木底男 81-2286
松野地区 深澤裕子 85-2253

法人の事業主の皆さんへ

法人事務所で働く人は、すべて健康保険と厚生年金保険の加入が、義務づけられています。まだ加入されていない事業所は、すみやかに加入の手続きをしてください。なお、毎月初めに、新しく会社保険に加入する事業所の事務説明会をおこなっておりますので、ご利用ください。

問合せ先 清水社会保険事務所
☎0543-65-2211

10月の健康テレホンサービス ☎054-282-1717

月 前立腺肥大症について
火 上手な体力のつけたクモ膜下出血の予防
水 更年期の過ごし方
木 大切にしたい6歳臼歯
金 鼻血のはなし

静岡県保険医協会
☎054-281-6845

富士川排水路の経年変化

単位 (mg/l)

	PH	SS	BOD	DO	T-N	T-P	流量
61年度	6.9	38.3	30.1	6.4	5.15	1.87	3,103
62年度	7.2	30.3	30.2	5.5	7.43	1.66	2,790
63年度	7.0	26.1	26.4	5.5	4.46	0.26	2,542
元年度	7.1	26.7	27.2	5.7	5.55	1.36	2,589
2年度	7.0	31.3	25.6	5.2	4.03	0.65	2,663

SS（浮遊物質）：水に溶けない懸濁性の物質（粒径2mm以下）
BOD（生物化学的酸素要求量）：有機性物質が微生物に酸化される際に消費する酸素量
DO（溶存酸素）：水中に溶解している分子状酸素
T-N（全窒素）：水中に含まれる有機性及び無機性窒素化合物の総量
T-P（全リン）：水中に含まれる有機性及び無機性リン化合物の総量

環境告知板(巻ノ七)

「富士川排水路」
富士川排水路には、中之郷地区の生活排水、雨水、富士川地区の七事業所の排水が放流されており、排水量の九五％は事業所排水（最大七三八〇〇m³/日）で占められています。この排水路に放流している七事業所は、県の上乘比排水基準に加え、まちとSS削減協定を締結し、水質汚濁防止対策をおこなっています。

「藻」の発生が多いことから、質が褐色で、しかもスライム（藻）の発生が多いことから、事業所とまちは浄化研究会を組織し、更に学識経験者による調査委員会に排水路の浄化対策について調査を委託しました。その結果は、排水路の水質は漁業に害があるとは考えにくいですが、窒素、リン成分が多いためにスライムが発生しやすい、何らかの対策をおこなう必要があるという内容のものでした。この報告をふまえ、まちは今後も官民一体となった水質汚濁防止対策を推進していきます。

福祉玉手箱（その1）

「福祉を育てる県民運動強調月間」

10月は、「福祉を育てる県民運動強調月間」です。そして、とくに10月20日を「県民福祉の日」として定め、その意識の高揚を図っています。

10月20日を「県民福祉の日」と定めた理由は、1月1日から数えて294日目にあたり、「ふくし」になぞられて定められたそうです。

福祉といっても、広い意味のものから狭い意味のものまであり、広い意味での福祉については、知らないうちに関わっているということも少なくありません。

狭くは、いろいろな面でハンディキャップを持っている人たちへの援助であり、広くは、人が生きていくために必要なこと、ということになろうかと思えます。ですから、今話題となっている地球環境問題も広くとらえれば、「福祉」問題といえないこともありません。

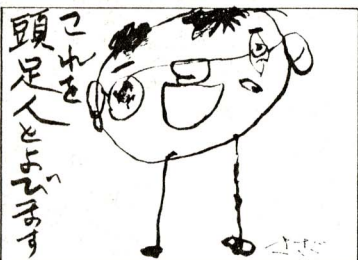
いずれにしても、どれだけ相手に優しく（ここでは「優しさ」の定義も重要なことです。）できるか、どれだけ相手の立場になって物事を考えることができるか、このことが福祉を育てていく基本ではないでしょうか。10月20日を機会に考えてみてください。

富士川短歌会九月詠草

「東風は西風を圧す」年老いし
毛沢東を駆り立てしは何
簡素なる五輪の塔は寺山に
將軍の夫妻の鎮まりどころ
鬼灯の紅濃ゆくして初盃蘭盆
近づき姑を偲ぶべくなりぬ
苦渋あらわにゴールの有森選手
身体を屈め息荒々し
結婚の指輪も戦に供出し
われら老いたり金婚を過ぐ
北山の杉をし見ると登りゆく
我らのバスの窓を打つ雨
百余年煤けし杉板洗いつつ
思い巡らす先祖幾代に
年々に成田に鮮魚の空輸増え
焼津の水揚げ凌ぐとも言う
遠州灘波の高きに繰り出でて
屈託なしサーフィンする若きら
病癒えし証と収穫なりしこの菜の種
朝市の友に分ちぬ
眞夏日を蜜柑摘果に勤しめば
汗は鳩尾を流れて止まず
空を被い枝広く張る棟あり
昼閑かなる菩提寺の庭
待ちし幼ら来るや忽ちわが部屋に
レールを敷きて車走らす
時を今に刻みて父祖の柱時計
我ら親族を導く如し
桜桃を摘みいる我に近くして
声頻りなく鴨ひとつ

山口 春夫
上野みつ子
萩野 敏音
川口 久代
桐谷 静子
佐藤 ちよ
佐野いそ江
塩川 恒子
清 芳江
角替千鶴子
土橋 節子
中川しな子
長橋 安子
長谷川ゆり子
深沢千代子

星の子 254 三田利三



富士山と富士川の景観特性要素（山肌・谷筋の美しさ）

富士山の東側の山肌は、ゴルフ場などの乱開発によって、虫食い状に裸地がひろがっています。一方富士市側にはまだ多くの緑も残っており、山肌の美しさもある程度保たれています。

谷筋については、山頂より200m付近にかけて放射状に谷筋がひろがっているため、これが谷筋が雪の筋としてギザギザ模様になり、雪の冠を大変印象的なものにしてしています。大沢崩れのような谷筋についても、私たちのまちの北側から望むことができます。

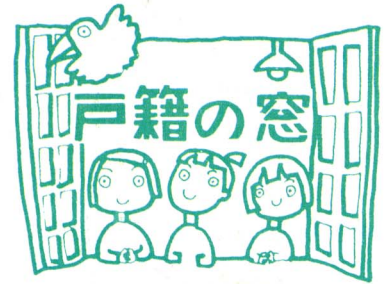
区名	氏名	保護者	続柄
相生町	小沼 百恵	安雄	長女
舟山町	花田 耕平	光功	長男
宮町	藤島 栄人	久栄	2男
宮町	山田 麻以	伸幸	長女
富士見町	高橋 香帆	浩行	長女

すこやかに

(敬称略)

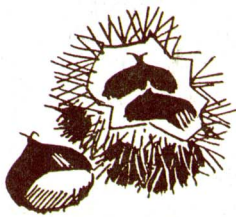
9月20日届出分

8月21日



区分	氏名	年齢
中野台一	尼田 旭 敦士	2男
中野台二	中野 敬弘 卓也	長男
中野台三	青島 瑞季 達郎	2女
中野台三	村島 奈月 隆志	2女
区	氏名	年齢
相生町	志村 幸雄	75
上町	大塚みのゑ	84
舟山町	丸山 均一	65
坂下	植松 鉄雄	76
堺町	齋藤 なみ	82
川坂	米倉 茂吉	80
小池	望月ひさ子	80
小池	加藤 みよ	88
本通四	鈴木ユキ子	61
本通四	若月 さだ	88
幸町	山田順太郎	75
東町一	海老名和子	51
富士見町	小林 みさ	75
八幡町	二又川きよ	86
大北町	朝比奈庄吾	65
俣下町	鈴木まゆみ	94
吉津	鈴木 義雄	80

かなしみ



お母さんの知恵袋

『健康食を
毎日の食卓に』

大根には、ビタミンCや消化酵素が多く含まれており、健康管理には是非とも活用したい野菜のひとつです。

◎胸やけ・二日酔いに効果的なのが、大根のおろし汁です。おろした大根を、ガーゼなどに包んでしぼった汁を飲みます。

◎生の大根を薄い輪切りにして、蓋つきの容器に蜂蜜と一緒にに入れておき、出てきた透明の液を飲むと、咳や痰など喉を痛めたときによく効きます。

◎大根に含まれる辛味成分には、腸のはたらきをよくして、排便を促す作用があります。頑固な便秘にも効果的です。

◎干した大根葉を入浴剤がわりにお風呂に入れると、体が芯から温まり、冷え症や神経痛の人にとっても効果的です。

婦人会 斉藤